

STETSBAR

PROFESSIONAL TREMOLO SYSTEMS

■ Stop Tail Model

MANUAL

取り扱い説明書

はじめに

この度はSTETSBAR 製品をお買い上げいただき誠に有難う御座います。ご使用前に本紙をよくお読みいただき、安全に注意して御使用下さい。

△注意

取り付けに関して専門の知識が必要な場合がございますので、経験や自信の無い方はリペアショップにご依頼ください。誤った取り付け方等でパーツ本体や、ギター本体を破損された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

1 取り付け方法



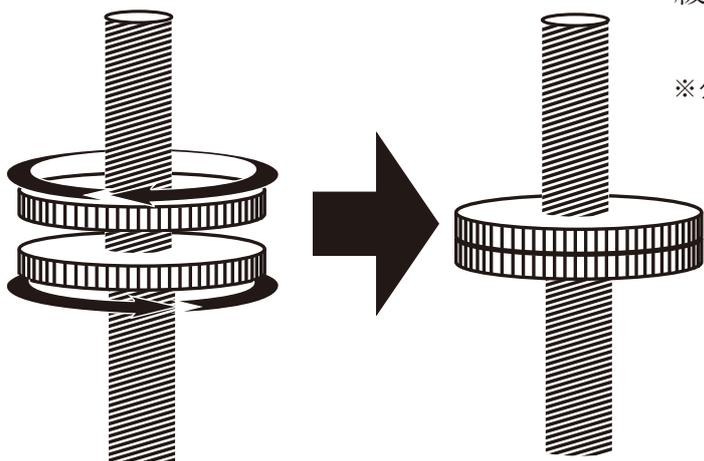
1

ブリッジ交換前にブリッジの位置(1弦側と6弦側)をマーキングしておいたマスキングテープを貼っておけば、セットアップがスムーズ行えます。

ブリッジ部に付いているハードウェアを取り外してください。(ブリッジ、ブリッジポスト、ストップテイルピース、ストップテイルピーススタッド) ヴィンテージタイプのブリッジポストはボディに直接ねじ込んであるモデルがあります。このモデルのブリッジポストを外すには、2つのサムナットを※ダブルナット状態にして、緩む方向に回すことで外すことができます。

※ダブルナット状態…

左図のように上のナットを締める方向に下のナットを緩める方向に回しお互いに噛むように締め込むことで、ナットをその場に固定すること。



1 取り付け方法

2

Stetsbarをギターのストップテイルピースマウントホールに設置してください。

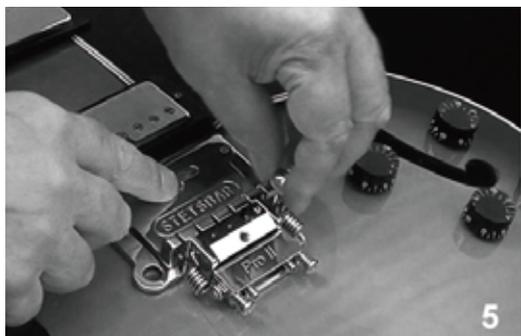
3

Stetsbarがボディにフィットしていることを確認してください。ブリッジブッシュにスペーサーが付いている場合、必要であれば取り外してください。

また、一部モデルではピックガードがStetsbarのベースプレートに重なる場合があります。その場合、市販のピックガードなどに交換されることを推奨します。オリジナルピックガードは保存しておくことで、ギターの価値を下げずに済みます。

4

Les Paulのようなアーチドトップのギターの場合、Stetsbarのベースプレートが浮いてしまいます。その際、スポンジなどを適当な大きさに切ってベースプレートがギターの本体に直接当たらないようにしてください。塗装によっては影響が出る可能性がありますのでご注意ください。



5

付属のボタンヘッド用取り付けボルト(インチとミリの両方のボルトが付属しています)を、ベースプレートの穴を通してストップテールブッシングに入れStetsbarをギターに固定してください。

6

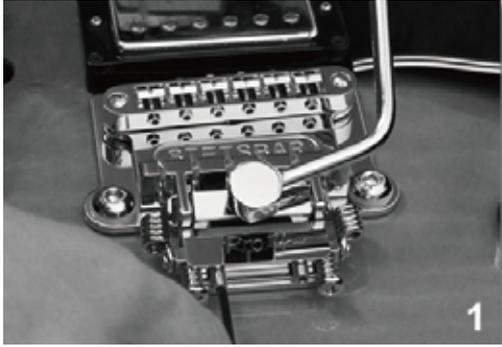
ドライバーでボルトを締めてください。この時、決して締めすぎないように注意してください。指先で十分に固定されたと感じれば十分です。強く締めすぎるとギターを傷める場合がありますのでご注意ください。

7

アームをセットしてください。

△注意

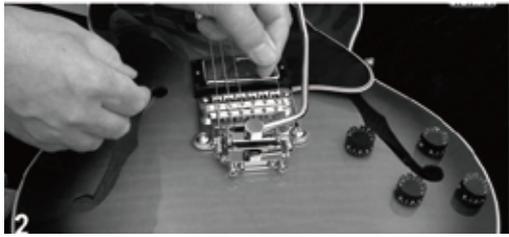
本工程には楽器技術に関する経験と知識が必要な緻密な調整が含まれます。自信のない方はプロショップへご依頼ください。本項の「注」内の警告を無視された作業によりパーツ本体や、ギター本体を破損された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。



1

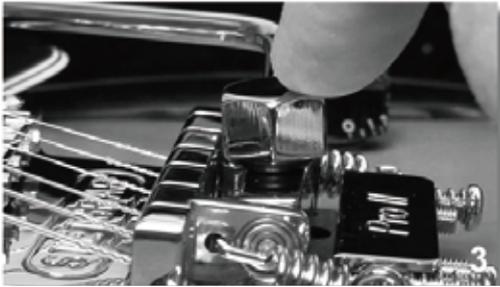
テンションアジャストスクリューとフローティングロックスクリューが完全に巻き戻されていること、およびブリッジ下真ん中のリテーナースクリューがブリッジプレートの滑りを妨げていないことを確認してください。

注) 必ず上記のスクリューを戻してください。
今後の工程で破損の恐れがあります。



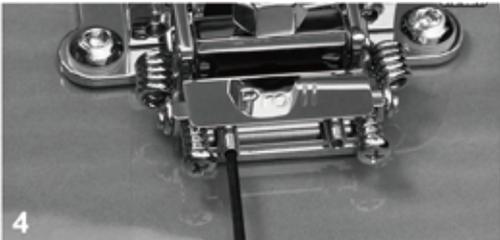
2

弦を張り、ストレッチして弦の状態を安定させてから、チューニングを行ってください。



3

チューニングをすると、アームが弦の張力で引かれます。Stetsbarをゼロポイント(正しいギターのスケール)に戻すために4の工程を行います。



4

左右のテンションアジャストスクリューを交互に少しずつ(1/8回転以下で)回して、徐々にStetsbarブリッジを正しい位置へ移動させてください。こうすることで、弦のテンションが急激に変わることを防げます。

注) ネジは慎重に少しずつ回してください。破損の恐れがあります。

5

ブリッジの高さを調整し、またサドルの位置を調整してイントネーションを合わせてください。



6

「フローティングロック」機能を使用するには、次の操作を行ってください。

ストリングアンカー部に触れるようにフローティングロックスクリューを調整し、さらに1/2回転させてブリッジプレートをわずかに前方に押し込みます。ギターの音程を戻すためにテ左右のテンションアジャストスクリューを交互に少しずつ(1/8回転以下で)慎重に締めて戻してください。

Q Stetsbarのピッチレンジは?

A 弦のゲージによりレンジは異なりますが、.009-.042のゲージで、6弦解放(E)を最大で1オクターブ程度アームダウンのセッティングが可能になります。アームアップは、セッティングによりますが3F程度までとなります。弦のゲージが太くなると、ピッチレンジは狭くなりますので、Stetsbarをご使用になる場合は、.011-.048より太いゲージは推奨致しません。Stetsbarのピッチレンジはスタンダードなシンクロナイズドトレモロブリッジと同程度です。

Q Stetsbarでチューニングがすぐに狂ってしまう

A Stetsbarのインストールとセッティングに問題が無いか確認してください。さらに弦がきちんとストレッチできており、安定しているかをご確認ください。その上で、最も重要なのはギターのナットです。Stetsbarは、リニアトレモロでテイルピースとブリッジも可動式です。そのため、ナット部が唯一弦の擦れる部分になります。ナットの溝切りがしっかりと行われていることを確認し、それでもチューニングがすぐにずれてしまう場合、ナットに潤滑油を塗るか(推奨 MUSICNOMAD MN106)、グラファイトナットやローラーナットなど、摩擦の少ないナットをご使用ください。また、ニッケルストリングの方がチューニングが安定するかもしれませんのでお試しください。

Q Stetsbarを導入してから、どこを調整すれば良いですか?

A トレモロアームでのプレイ経験を積んで、Stetsbarの使用に慣れたらテンションアジャストスクリューを調整してお好みのセッティングを探してみてください。

Q Stetsbarのハムノイズ対策は?

A どうしてもStetsbarに起因するハムノイズが発生する場合(弦アースが取れない場合)は、Stetsbarにグラウンドワイヤーを接続してください。ブラックカラーのモデルなどでは、接続部のメタル部を露出させる必要がある場合があります。Stop Tailモデルでは高音弦側のストップテイルホール内、S-Styleではインストール時にグラウンドワイヤーを接続するので、追加作業の必要はありません。T-Styleではリアピックアップのネジからグラウンドが接続されますが、一部のピックアッププレートが無いモデルの場合、グラウンドを接続する必要がある場合がございますのでご確認ください。

Q 特殊なギターにStetsbarは取り付けられますか?

A Stetsbarは、ストップテイルピースやTLタイプ、STタイプのブリッジに適合するよう作られています。スタンダードなモデルに合わせて作られていますので、特殊なモデルでは取り付け自体ができないこともございます。必ずサイズ等をご確認の上お買い求めください。